

# FUJITEC

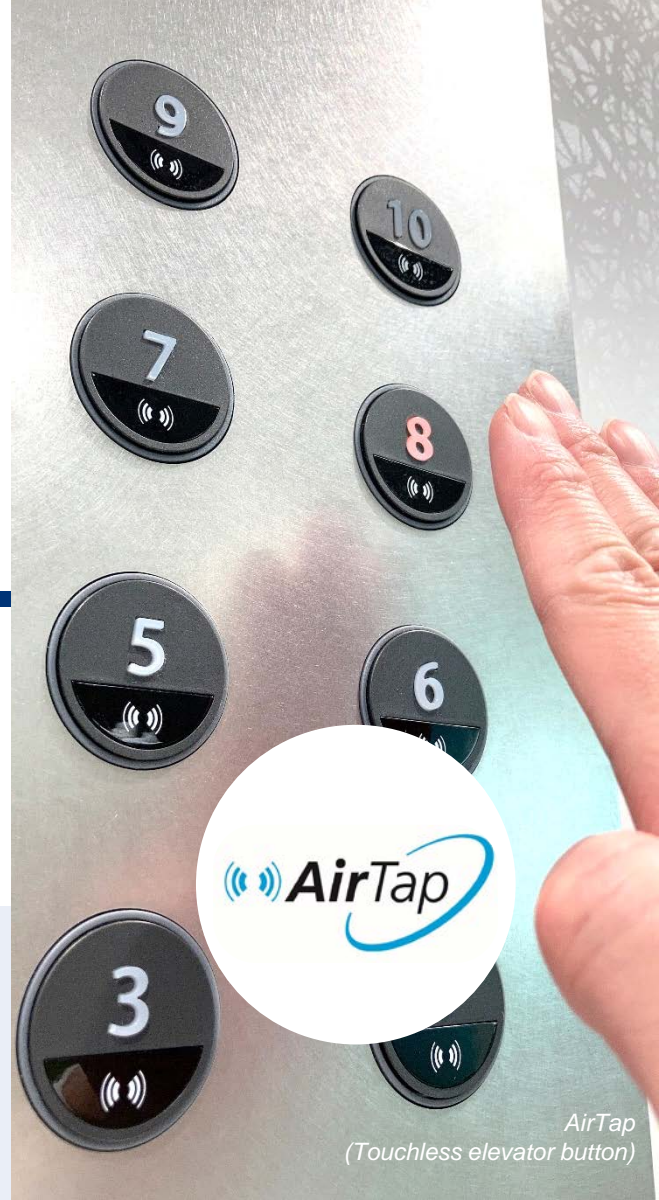
## 2023年3月期 連結業績概要

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

2023年5月12日

フジテック株式会社

(東京証券取引所プライム市場: 6406)



AirTap  
(Touchless elevator button)

## 2023年3月期連結業績概況

- 前期比 増収減益。売上高2,075億89百万円（11.0%増）、営業利益116億19百万円（15.7%減）売上高が過去最高を更新
- 受注高は2,032億30百万円（3.9%増）
- 全セグメントで増収。新設事業・アフターマーケット事業ともに国内外で好調
- 営業利益は、上海ロックダウン、原材料費の高騰等の影響で、日本、中国で大幅減少
- 自己株式の取得はすべて完了

## 2024年3月期連結業績計画

- 売上高2,230億円（前期比7.4%増）、営業利益134億円（前期比15.3%増）を計画。売上高は、過去最高を更新
- 全セグメントで、増収を計画。営業利益は、日本、南アジア、米州・欧州でアフターマーケット事業の増加、採算性の向上で大きく伸びる
- 投資計画は、総額64億円（前年比19億円増）。中期経営計画「Vision24」施策を実行
- 2024年3月期配当は、1株当たり年間75円を予定。配当性向は56.2%の見通し

## トピックス

- 今年2月に創業75周年を迎えました。“安全・安心”を最優先に、快適なエレベータ・エスカレータの提供を使命として、事業を展開。今後も、新しい時代にふさわしい、都市インフラの発展に貢献いたします



- フジテック・シンガポールが創立50周年



## 2023年3月期連結業績概況

- 前期比増収減益。売上高は、過去最高を更新
- 営業利益は、日本、中国で上海ロックダウン、原材料費高騰の影響により減少

(単位：百万円)

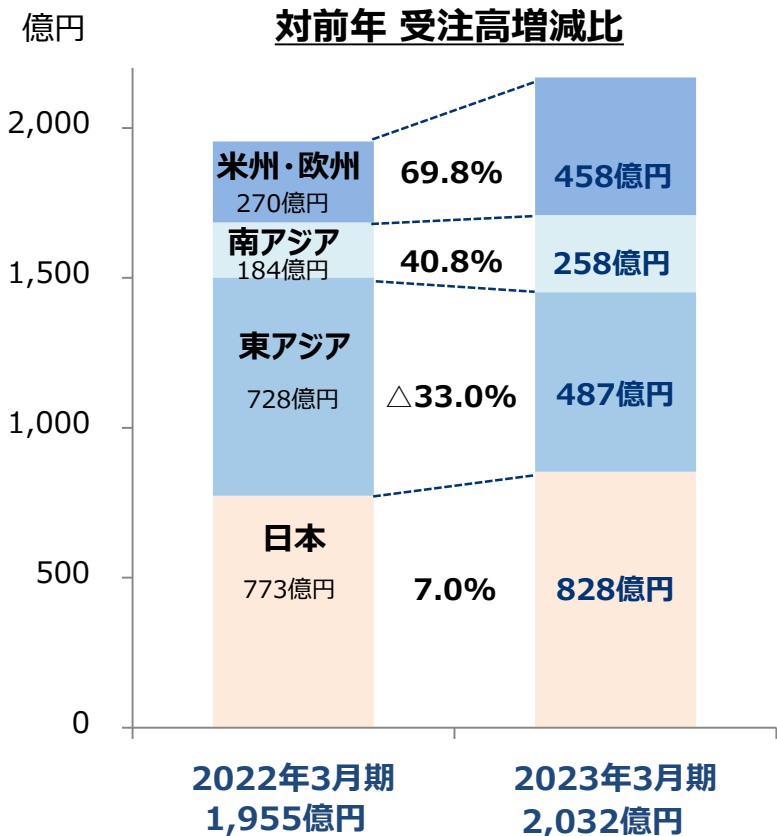
	2022年3月期	2023年3月期	増減率(%)
売上高	187,018	207,589	11.0
営業利益	13,777	11,619	△15.7
営業利益率	7.4%	5.6%	—
経常利益	15,713	13,332	△15.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,835	8,433	△22.2
1株当たり当期純利益	133.42円	106.67円	—
ROE	9.1%	6.7%	—

対米ドル円為替レート

109.41円

130.61円

- 前期比 3.9%増
- 国内は、堅調に推移。海外は、中国を除き、新設・モダニゼーション工事の受注が大きく増加



**国内**

- **新設事業**
  - 商業施設、工場・倉庫向けを中心に増加
- **アフターマーケット事業**
  - モダニゼーション工事のパッケージ商品「スマアップ」などの新商品が幅広いリニューアル需要を取り込み増加
  - 保守は、高い契約率を維持し、引き続き堅調に推移し、前期比で増加

**海外**

- **新設事業**
  - 東アジアは台湾、韓国で増加、中国で減少
  - 南アジアはシンガポール、マレーシア、インドで増加
  - 米州・欧州は米国、カナダで増加
- **アフターマーケット事業**
  - 英国でモダニゼーション工事が増加
  - シンガポール・インドネシアでモダニゼーション工事が減少

グラフ内の数値：受注金額

# セグメント別業績ハイライト

- 売上高は、全セグメントで増収。特に南アジア、米州・欧州が好調を維持
- 営業利益は、南アジア、米州・欧州で、アフターマーケット事業の増加が寄与。日本、東アジアで原材料費の高騰等による採算性低下で減益

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2022年3月期	2023年3月期	増減率(%)	2022年3月期	2023年3月期	増減額
日 本	75,556	<b>77,507</b>	2.6	5,440	<b>2,111</b>	△3,329
東 ア ジ ア	78,463	<b>82,927</b>	5.7	5,165	<b>4,486</b>	△678
南 ア ジ ア	16,522	<b>24,128</b>	46.0	2,053	<b>3,544</b>	1,490
米 州 ・ 欧 州	27,186	<b>36,361</b>	33.8	1,128	<b>1,525</b>	397
小 計	197,729	<b>220,925</b>	11.7	13,788	<b>11,668</b>	△2,119
調 整 額	△10,711	△ <b>13,336</b>	—	△10	△ <b>48</b>	△38
合 計	187,018	<b>207,589</b>	11.0	13,777	<b>11,619</b>	△2,157

2023年3月期第1四半期より、フジテックアルゼンチーナS.A.を連結の範囲に含めたことに伴い、「北米・欧州」から「米州・欧州」に名称変更

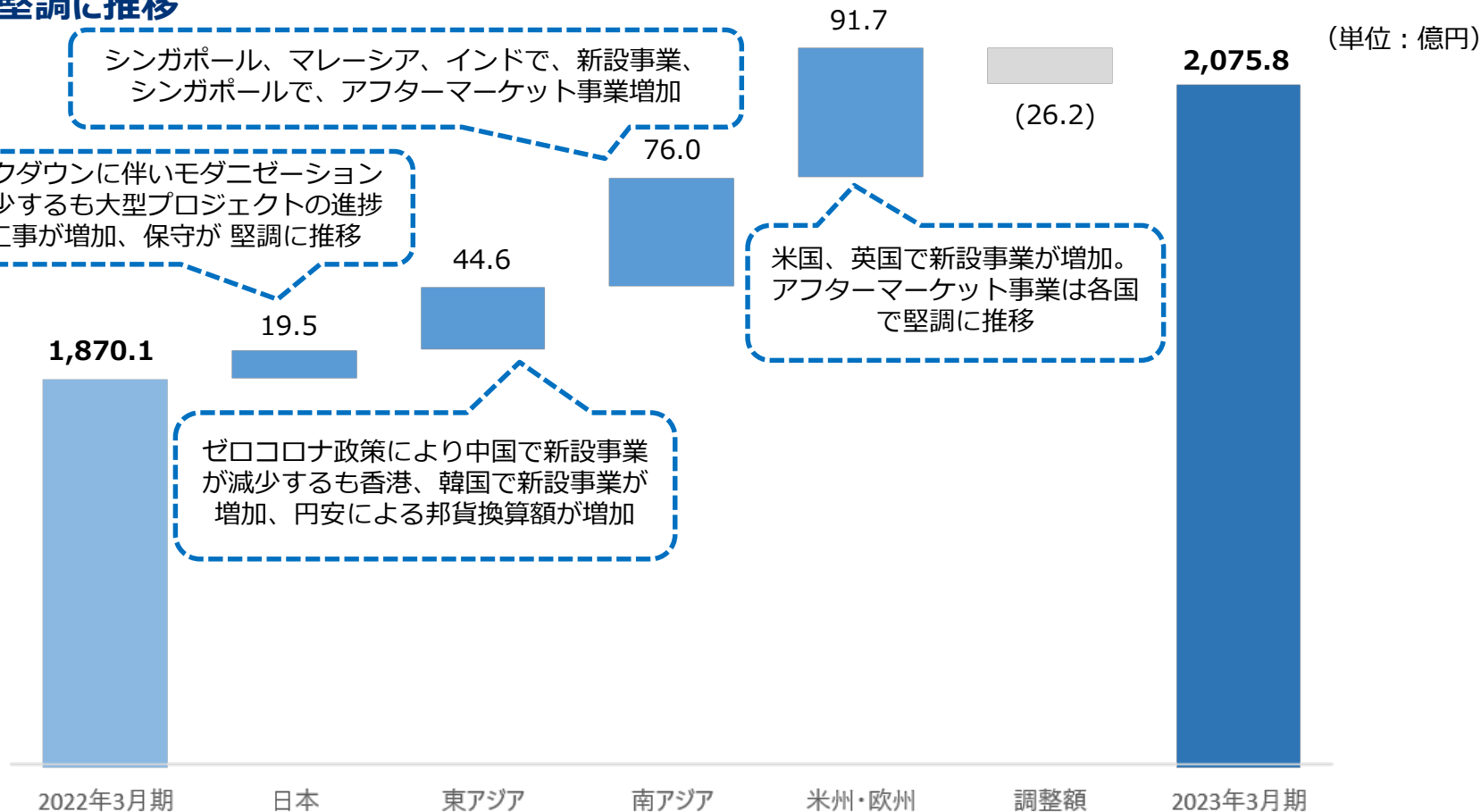
- 日本、東アジアで、新設事業が増加。南アジア、米州・欧州では、新設事業、アフターマーケット事業ともに堅調に推移

シンガポール、マレーシア、インドで、新設事業、シンガポールで、アフターマーケット事業増加

上海ロックダウンに伴いモダニゼーション工事が減少するも大型プロジェクトの進捗で新設工事が増加、保守が 堅調に推移

ゼロコロナ政策により中国で新設事業が減少するも香港、韓国で新設事業が増加、円安による邦貨換算額が増加

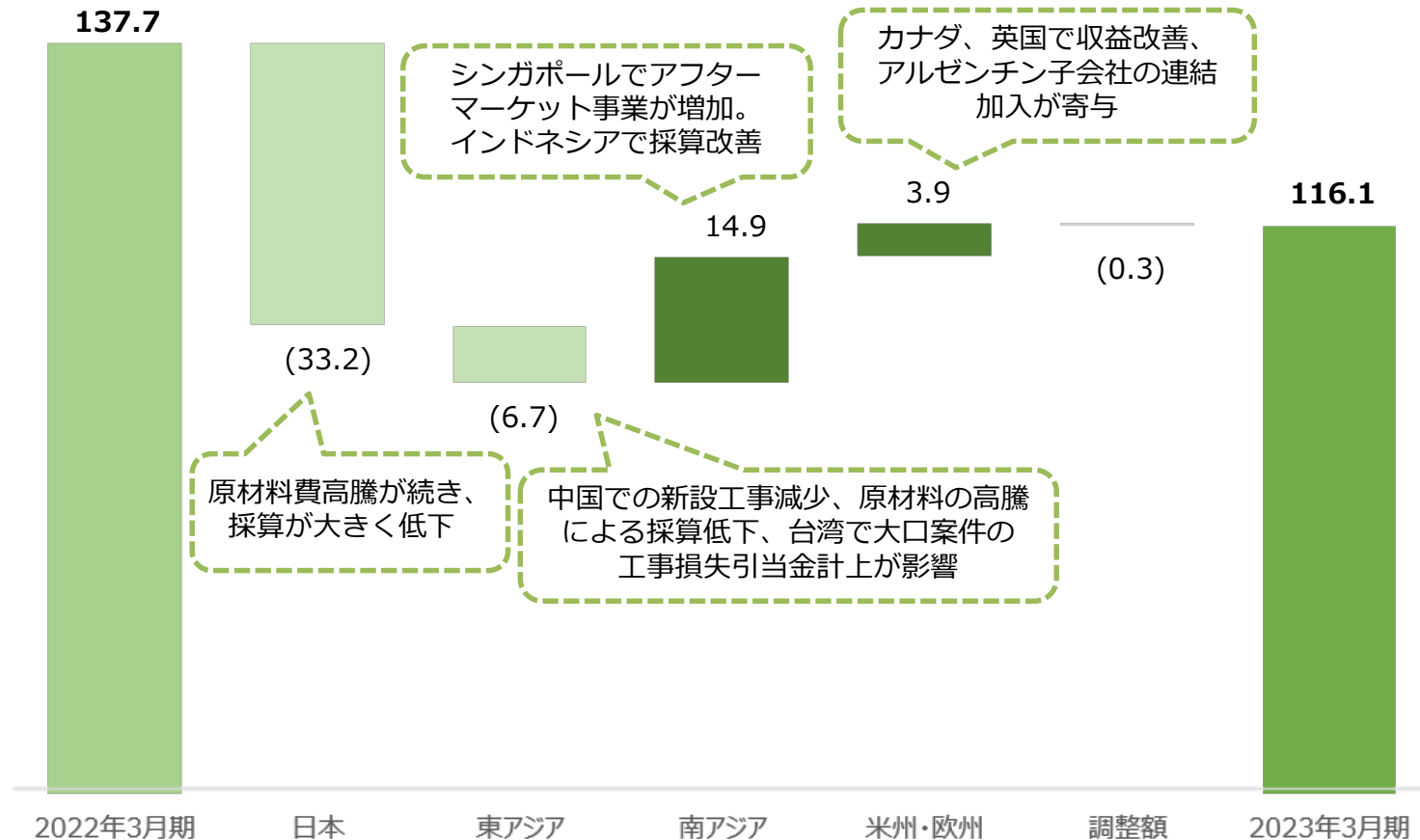
米国、英国で新設事業が増加。アフターマーケット事業は各国で堅調に推移



# 営業利益ブレークダウン

- 日本、中国で、原材料費高騰によるコスト上昇が続ки、採算が低下し減益。南アジア、米州・欧州は、新設事業、アフターマーケット事業の売上増加が寄与し増益

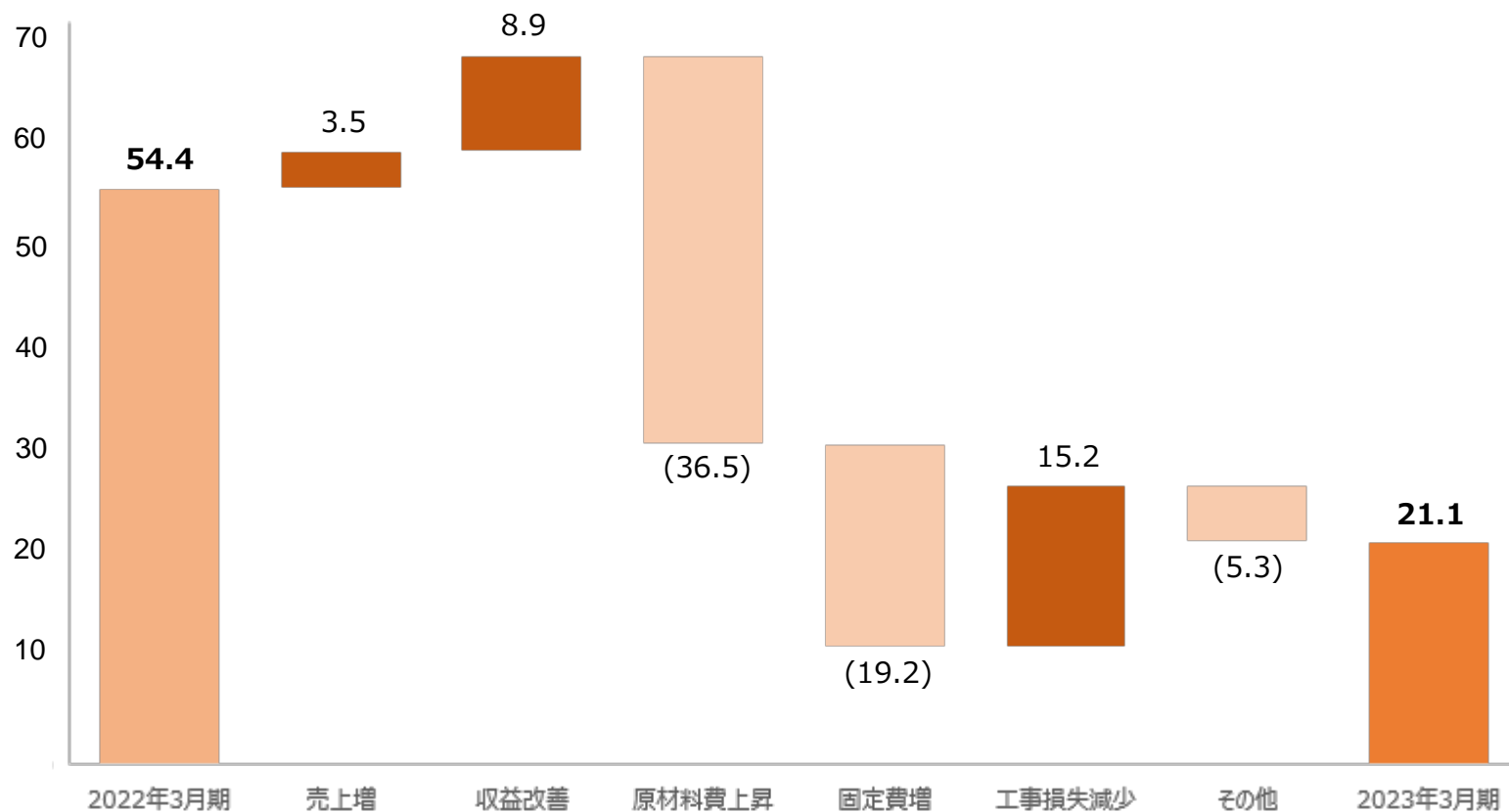
(単位：億円)





# 営業利益要因分析（国内）

(単位：億円)



- 世界的に好調な受注が、堅調な売上を下支えするものの、上海ロックダウン、急激な為替変動、インフレによる原材料費高騰等の外部環境変化により収益性が低下

日本		<ul style="list-style-type: none"><li>新設・アフターマーケット事業とも受注が好調</li><li>上海ロックダウン、半導体等の部品調達、資源高騰、円安など外的要因により、収益が減少</li></ul>
東アジア	全体	<ul style="list-style-type: none"><li>上海ロックダウンにより調達が停滞</li></ul>
	中国	<ul style="list-style-type: none"><li>不動産不況、ロックダウンによる景気の低迷、原材料費の高騰等の影響で計画に遅れ</li></ul>
南アジア	全体	<ul style="list-style-type: none"><li>原材料費の高騰により、コストダウン施策を推進</li><li>インド第2工場の完成、Express Liftsの買収により、生産体制の拡充が計画通り進捗</li></ul>
	インド	<ul style="list-style-type: none"><li>受注が旺盛</li></ul>
米州・欧州	全体	<ul style="list-style-type: none"><li>新設・アフターマーケット事業ともに好調</li></ul>
	米州	<ul style="list-style-type: none"><li>Elevadores EV International, S.A. de C.V.の株式取得より、北米地域の販売力を強化</li></ul>

## 「エアータップ」の優位性

- 「エアータップ」は、新生活様式のニーズ拡大により、新設の採用率は9割を超える
- モダンゼーション工事では、住宅・商業施設の既設エレベータで採用が進み「新生活様式パッケージ」が好調
- デザイン性とタッチレス機能の両立した新ラインナップを追加。ホテルや商業施設等での展開加速



## エレベータのモダンゼーションが好調

- 安全な運行に重要な駆動系、制御装置の交換で、エレベータの基本機能の向上を図る新パッケージ「スマアップ」が好調。リードタイムの最大約40%短縮とコストダウンを追求し、幅広いリニューアル需要を取り込む



## フジテック・インド第二工場・新研究塔完成



- フジテック・インドの第二工場と新研究塔が完成
- 需要が拡大するインド国内、南アジア地域向け生産基盤の整備完了

## M&Aによる更なる事業拡大



- インドのExpress Lifts Limitedの株式取得。著しい成長が見込まれるインド市場において、生産能力の強化と販路拡大で、事業基盤の強化を目指す
- メキシコの Elevadores EV International, S.A. de C.V.の株式取得。同社が製造する機器を活用し、北米でのコスト競争力強化で事業拡大を図る

## 昇降機の保守・技能教育にスマートグラスを導入



- 技能伝承や生産性向上を目的に昇降機のメンテナンスなどを行うフィールド業務で、スマートグラス(メガネ型ウェアラブル端末)を導入
- 技術者が付加価値の高い業務に集中できる環境を支援し、エレベータ・エスカレータの更なる“安全・安心”を提供

## フジテック・台湾の生産自動化を推進



- 生産性の向上による商品の価格競争力の強化でグローバル事業の更なる拡大
- 板金加工の自動化ライン、溶接ロボットなどの導入と、設備の一部は夜間の無人稼働化で収益力の向上に貢献

## 据付プロセスの革新

- フィールド分野で、安全に配慮した据付プロセス改革を推進する専任組織を新設。据付工法開発・技量向上による据付コスト革新を進め、工事現場で新工法の運用を開始



## 昇降機の輸送にダブル連結トラック導入

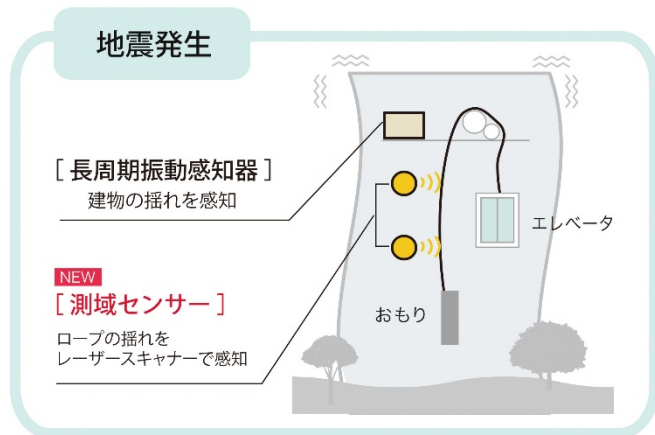
- 1人のドライバーが大型トラック2台分の荷物を輸送する「ダブル連結トラック」を導入し、物流コストを削減



- 「ダブル連結トラック」の導入前と比べて、長距離輸送の省人化と、脱炭素の推進(約30%のCO2削減)に効果を発揮

## 高層向けエレベータの地震対策機能を新開発

- 高層ビルや高層マンションを対象としたエレベータの地震対策として測域センサー\*を用いた新たな長周期地震時管制運転を新開発
- 測域センサーによる揺れの精緻な測定で地震発生時におけるエレベータの休止時間を短縮し、早期復旧を支援



エレベータ  
動作決定

最寄り階に  
停止

利用者を  
降ろす

\*レーザーキャナーのこと。レーザー光で対象物との距離を測る

## ビル管理者向けウェブサービス「エレモリ」を提供

- エレベータ・エスカレータの稼働状況などを、スマートフォンで確認できるビル管理者向けのウェブサービスを提供開始



## ロボット連携技術の開発

- エレベータとロボットをインターネットで接続し、階の異なるフロアへ自律的に移動できる「ロボット連携技術」を推進。複数の実証実験に参画中
- 多様な社会に適應する商品・サービスの開発に努め、新しい時代にふさわしい“安全・安心”で快適な移動空間の提供を目指す



## TCFDに準拠した情報開示

- TCFDフレームワークに基づく気候関連財務情報を開示
- 環境や社会に配慮した美しい都市機能の実現を目指す



当社は2022年10月、TCFD提言に賛同することを表明

## 海外主力商品が環境製品宣言に登録

- グローバル事業における主力商品であるZEXIA・REXIAとELSIAが環境製品宣言(EDP)\*に登録

\*Environmental Product Declaration



## 経済産業省「DX認定事業者」に認定

- 経済産業省が定めるDX（デジタル・トランスフォーメーション）認定制度に基づく「DX認定事業者」に認定。今後もエレベータ・エスカレータの“安全・安心”を追求するDXを更に推進



## 「健康経営優良法人2023」に認定

- 健康経営優良法人認定制度に基づく「健康経営優良法人2023\*」に認定
- 当社は、従業員の健康はフジテック・グループの持続的な成長を実現する重要なテーマであると考え、従業員の健康への取り組みを積極的に行い、多様な働き方を可能とする環境を目指した対応を強化



\*経済産業省と日本健康会議が特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度

## 2024年3月期連結業績計画

- 前期比 増収増益。売上は、昨年に続き過去最高を更新
- 収益は、日本と中国で原材料費高騰続くも、改善傾向

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減率(%)
売上高	207,589	223,000	7.4
営業利益	11,619	13,400	15.3
営業利益率	5.6%	6.0%	—
経常利益	13,332	15,100	13.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,433	10,400	23.3
1株当たり当期純利益	106.67円	133.38円	—

対米ドル円為替レート

130.61円

125.00円



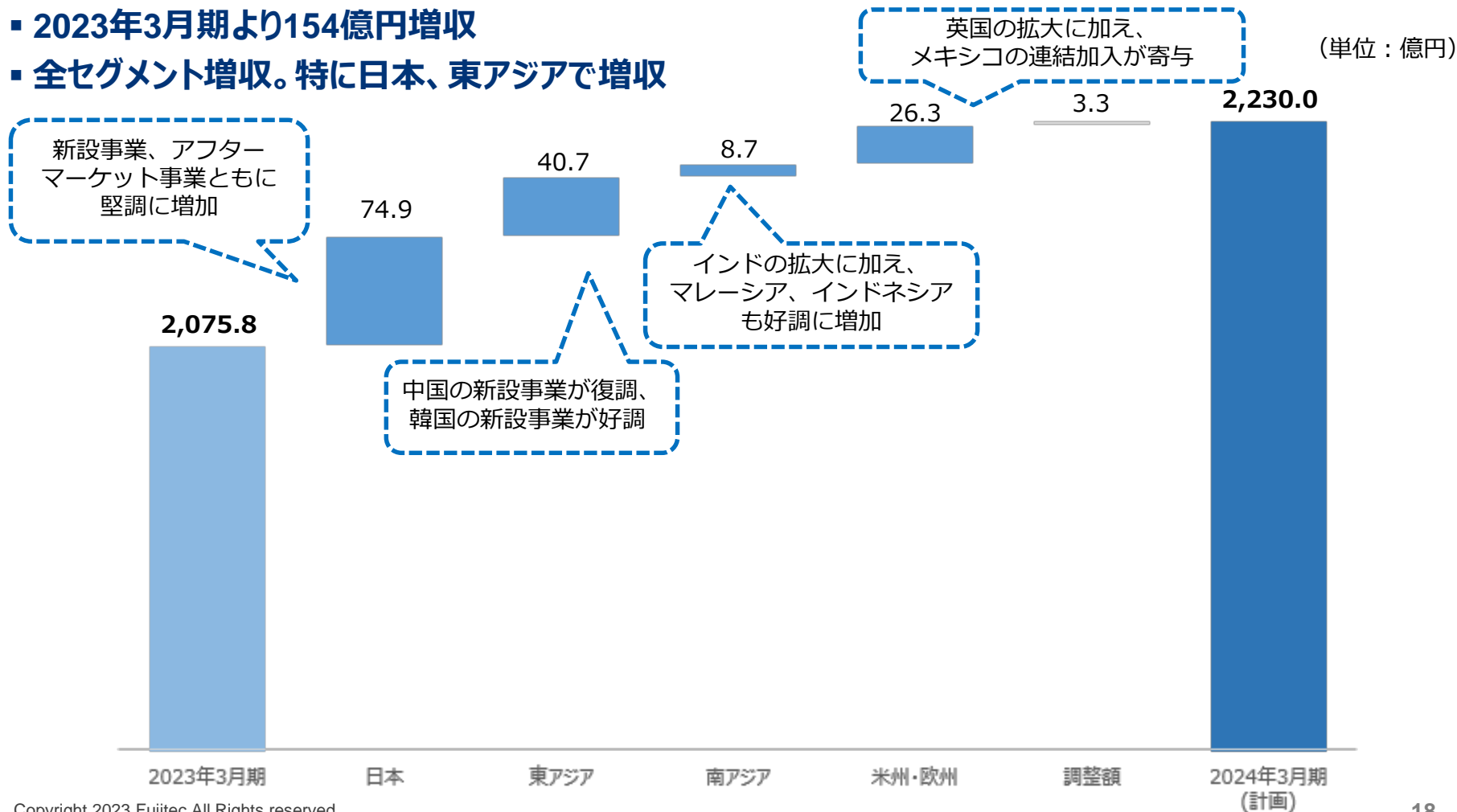
- 売上高は、すべての地域で増収。日本と米州・欧州で好調を持続。東アジアで中国が復調
- 営業利益は、一部で原材料高騰の影響が継続するも、増益を見込む

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2023年3月期	2024年3月期	増減率(%)	2023年3月期	2024年3月期	増減額
日 本	77,507	<b>85,000</b>	9.7%	2,111	<b>3,400</b>	1,288
東 ア ジ ア	82,927	<b>87,000</b>	4.9%	4,486	<b>4,400</b>	△86
南 ア ジ ア	24,128	<b>25,000</b>	3.6%	3,544	<b>3,700</b>	155
米 州 ・ 欧 州	36,361	<b>39,000</b>	7.3%	1,525	<b>2,000</b>	474
小 計	220,925	<b>236,000</b>	6.8%	11,668	<b>13,500</b>	1,831
調 整 額	△13,336	<b>△13,000</b>	—	△48	<b>△100</b>	△51
合 計	207,589	<b>223,000</b>	7.4%	11,619	<b>13,400</b>	1,780

# 売上高計画ブレークダウン

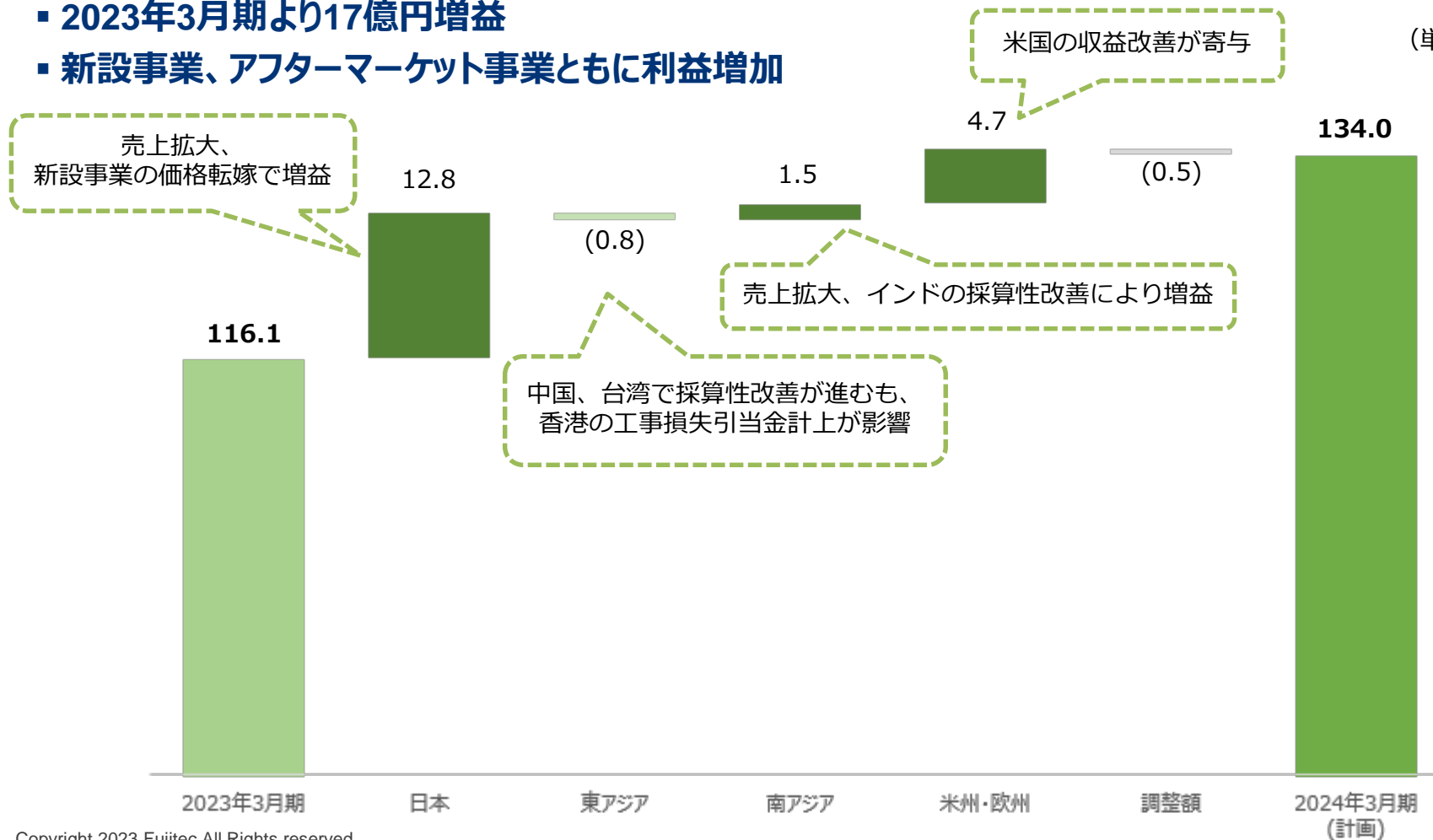
- 2023年3月期より154億円増収
- 全セグメント増収。特に日本、東アジアで増収



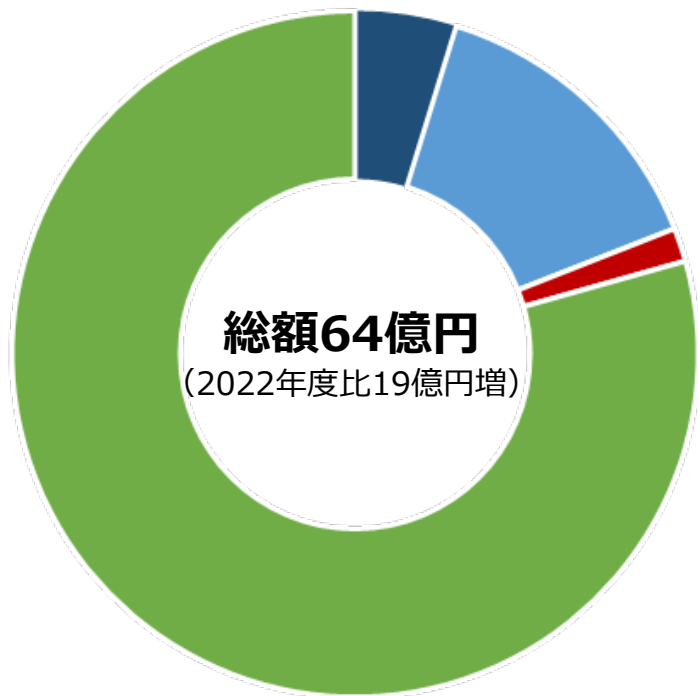
# 営業利益計画ブレークダウン

- 2023年3月期より17億円増益
- 新設事業、アフターマーケット事業ともに利益増加

(単位：億円)



- 2023年度は、総額64億円（2022年度比19億円増）の戦略投資で、「Vision24」の施策を遂行



## ● 事業成長投資：3億円

- 成長市場対応：インド工場生産能力増強

## ● 収益性向上投資：9億円

- 調達・製造コストダウン：調達部品・技術解析センターの整備
- IT活用促進：遠隔監視装置の拡大

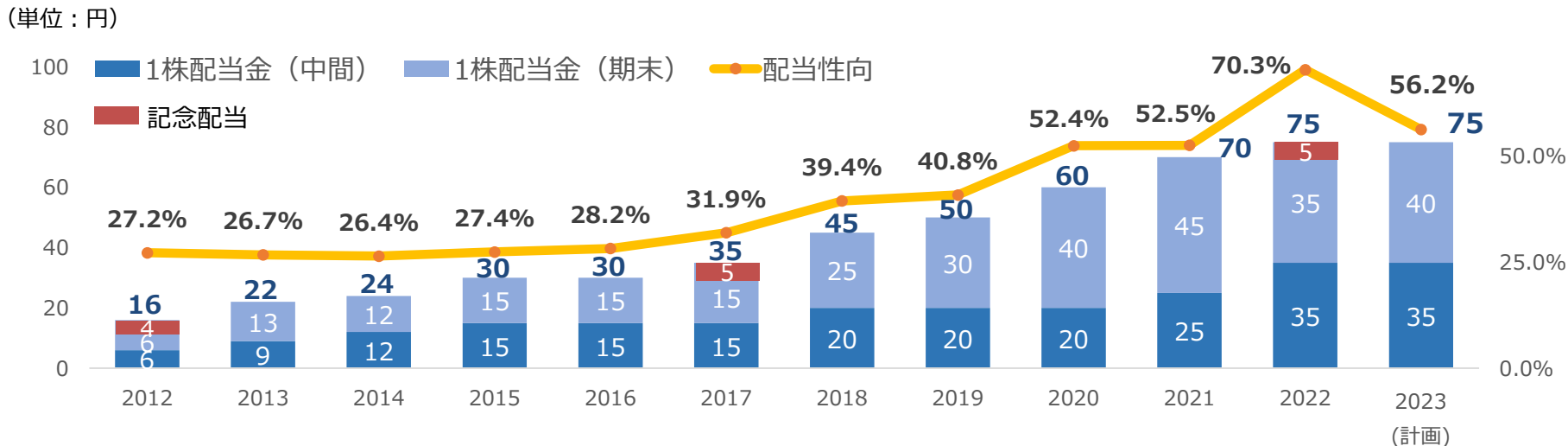
## ● ESG推進投資：1億円

- 災害・安全対策強化：セキュリティ対策強化
- CO2削減・環境対応

## ● 更新投資：50億円

- 生産設備・施設更新：既存設備や機械、工場向け更新投資

## 1株あたりの配当金と配当性向の推移



## 自己株式取得の状況 (2023年3月末時点)

### 計画通り進捗し終了

	計画	実績
株数	3,500	3,500
金額	10,000	9,936

(株数：千株、金額：百万円)

- 新設やモダニゼーション工事での原材料費の高騰、世界情勢不安によるサプライチェーンへの影響等が懸念されるが、市場特性に合わせた販売戦略や生産・オペレーション戦略によるコスト改革等により、収益性の向上に努め、「Vision24」の達成を目指す

## 国内事業

- 基幹商品の更なる拡販（標準機種およびモダニゼーションパッケージ「スマアップ」）
- 施工人員補充と負荷平準化による施工戦力の拡大
- 商品設計の抜本的な見直し、要素機器の開発、生産の自動化によるコストダウン推進
- 価格転嫁の推進

## グローバル事業

- 中国：重点顧客の新規開拓と一般住宅用モデルの拡販
- インド：事業エリアの拡大と増産体制の着実な構築
- 米国：油圧モダニゼーションパッケージの拡販と保守契約台数の上積み
- M&A企業とのシナジー効果の早期創出
- 要素の機器開発、サプライヤー転注、生産効率によるコストダウン推進

## 資本政策

- 資金還流の仕組み構築によるグローバルキャッシュマネジメントの強化
- 貸借対照表の管理徹底による運転資本の効率化

参 考 情 報

# キャッシュフローの状況

- 売上増および上海ロックダウン、半導体などの部品調達に対応した在庫の積増しで、営業キャッシュフローがマイナスに転じる
- 成長投資と株主還元資金は、一部借入と定期預金および手許現金の取り崩しで賄う

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減額
現金及び現金同等物 期首残高	35,840	<b>39,042</b>	3,202
営業活動キャッシュ・フロー	9,846	<b>△2,346</b>	△12,192
投資活動キャッシュ・フロー	△3,994	<b>1,949</b>	5,943
フリーキャッシュ・フロー	5,852	<b>△397</b>	△6,249
財務活動キャッシュ・フロー	△6,520	<b>△10,670</b>	△4,150
現金及び現金同等物 期末残高	39,042	<b>31,463</b>	△7,578



# 連結貸借対照表

FUJITEC

(単位：百万円)

	2022年3月末	2023年3月末	増減額	備考
流動資産	163,273	159,132	△4,141	
現金及び預金	76,956	58,297	△18,659	日本、東アジア、南アジアでの減少
受取手形、売掛金及び契約資産	66,123	75,545	9,421	日本、南アジア、米州・欧州での増加
棚卸資産	15,099	20,654	5,555	東アジアでの増加
その他	8,213	7,771	△441	
貸倒引当金	△3,119	△3,135	△16	
固定資産	57,335	70,966	13,630	
有形固定資産	35,283	38,506	3,223	設備投資+4,280 減価償却△3,713 為替ほか+2,656
無形固定資産	4,837	5,368	531	
投資その他の資産	17,215	27,090	9,875	
総資産	220,609	230,098	9,489	
流動負債	74,691	79,888	5,196	短期借入金+6,295 支払手形及び買掛金+1,911 前受金△1,417 工事損失引当金△1,600
固定負債	5,435	6,092	656	
純資産	140,482	144,118	3,635	為替換算調整勘定+7,892 非支配株主持分+1,220 利益剰余金△5,103
自己資本比率	56.9%	55.6%	△1.3pt	
B P S	1,549.83円	1,640.29円	90.46円	

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減額
設備投資額	4,527	6,400	1,873
国内	2,703	4,200	1,497
海外	1,823	2,200	377
減価償却費	4,029	4,200	171
研究開発費	2,590	3,000	410

## 新設工事

完成



東急歌舞伎町タワー  
(日本・東京)  
エレベータ7台

完成



エスコンフィールドHOKKAIDO  
(日本・北海道)  
エレベータ13台・エスカレータ14台 計27台

受注



Xiong An - Dian Jian Zhi Hui Cheng  
(中国・河北省)  
エレベータ276台・エスカレータ66台  
オートウォーク2台 計344台

受注



London Campus 03  
(英国・ロンドン)  
エレベータ8台

## モダニゼーション工事

完成



The St.Regis  
Jakarta  
(インドネシア・  
ジャカルタ)  
エレベータ16台・  
エスカレータ2台  
計18台

社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月（創業75周年） （1974年2月東証第一部上場、2022年4月東証プライム市場移行）
本社	ビッグウイング 滋賀県彦根市宮田町591番地1
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円（発行済株式数78,900,000株）
役員	代表取締役社長 岡田 隆夫 取締役：8名（うち社外5名） 監査役：4名（うち社外3名）
従業員数	連結 11,453名（単独 3,192名）
関係会社	38社（内、連結子会社23社） （米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東）

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。

既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2023年5月12日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2023年5月12日

# フジテック株式会社

2023年3月期 連結業績概要

